

(様式第4号)

第10回上田右岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和7年2月17日 午後1時30分から
3 会場	中央公民館 大会議室
4 出席者	岩佐委員、永本委員、小川委員、掛山委員、北澤委員、久保田委員、小林委員、駒崎委員、塩入委員、清水委員、橋詰委員、宮下委員、柳澤委員、山崎委員、吉田委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】田中中央地域振興政策幹、木嶋西部地域振興政策幹、横澤豊殿地域自治センター長、間宮地域振興政策幹、平田地域内分権推進担当係長、竹花地域内分権推進担当係長、石井中央地域統括幹、唐澤地域内分権推進担当主査、腰原地域内分権推進担当主査、桐山地域内分権推進担当主任 宮島上下水道局長、関上下水道基盤強化対策室長、緑川経営管理課長、矢澤上水道課長、堀内上下水道基盤強化対策室長補佐
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年3月4日
協議事項等	
次第	
1 開会	
2 会長あいさつ	
3 協議事項	
(1) 水道事業広域化に係る質問事項等の回答について	
(上下水道局長)市内9ヶ所で行った市民説明会では446名に参加いただいた。ケーブルテレビ、行政チャンネルでも説明会の様子を流しており、非常に多くのご意見をいただいているところ。	
今後のスケジュールとして、年度内に方針を決定するとお話ししていたが、上田長野地域の協議会の中でもスケジュール感については見直しが図られている。今後の調整方針を詰めた上で、基本計画(素案)を(案)にする予定。	
非常に多くのご意見をいただいております、皆さまの声を聞きながら慎重に判断していきたい。	
(上下水道基盤強化対策室長)いただいたご意見等について、資料に沿って説明する。	
・右岸地域協議会委員から提出された「意見・質問記入シート」に対する回答について (上田右岸地域協議会委員から25件の質問・意見があり、資料に記載の回答を要約して紹介。)	
・今年度、市内及び他市で開催された説明会での主な質問と回答について 基本計画(素案)に対する市民意見募集を実施し、上田長野間の地域全体で78名より144件の意見をいただいた。	
住民説明会は、地域全体で532名の方に参加いただいた。長野市は4回開催、上田市は9回開催しており、上田市の説明会は446名に参加いただいた。	
説明会において基本計画(素案)に対しいただいた意見は、市民意見募集に追加する。	

(以下、業務運営の基本方針についての意見、上田市で開催された市民説明会における主な意見と概要、市民説明会におけるアンケート結果について資料を要約して紹介。)

〈協議会のスケジュール見直しについて〉

第4回の上田長野地域水道事業広域化協議会において、住民説明会等に取り組んだ経過の中で、もう少し住民と議論を重ねる必要があるとして、スケジュールを見直すこととなった。

今後、3月に意見募集の結果について議会に説明し、令和7年度以降に再度、協議会での協議と議会への説明を経て、7月以降に改めて合意、というスケジュールを考えている。

基本計画の素案の中では、合意を受けたところで初めて、企業団設立準備が始められる。現在は皆さまに説明をしている段階。設立準備を始めて、企業団の設立までは2、3年程は時間を要すると言われている。この間に改めて事業計画を策定し、これまで説明してきた内容と変更があった際には、説明させていただく。

準備が整って(合意後2〜3年を目途)初めて企業団設立に関する議会の議決準備に入る。

7月以降に予定する基本計画の合意とは、行政が準備に入るかどうか、という段階。

・ケーブルテレビ等による周知の状況について

市民説明会の様子は、上田市行政チャンネルを通じて年末年始に放映した。

広報うえだでは、令和4年10月から計6回、水道広域化に関する記事を掲載してきた。

(委員)「これまで出ている意見に十分納得できる回答はされているか。」という質問に対し、説明の途中段階ではないか。

(上下水道基盤強化対策室長)説明を聞いていた方が納得したかどうかは、聞いていた方の主観。納得いただいたかは、その方に聞いてみないと何とも言えない。分かりやすい説明を心掛けている。

(委員)納得しているか、確認をしていないということか。

(上下水道基盤強化対策室長)市民説明会のときに、アンケートを実施した。「説明の内容がよく分かった。」、「大体分かった。」との回答が多かった。

説明会に来て下さる方は、それぞれのお考えを持っている方が多い。反対の考えを持つ方が納得されたかという、中々難しい。

(委員)説明会に取り組んでいるだけで、説明を受けた方が理解しているか、確認できていない。いずれにしても、結論は当然出ていない状況。

(上下水道基盤強化対策室長)今後どのような方向に進んでいくかはこれから、ということ。

(委員)新規の滝の入水源について、四阿山の裏側でなくても水源を採れるところはある。費用対効果はどうか。

(上下水道基盤強化対策室長)上田市も、つちや水源の開発に取り組んできた経過があり、昭和40年代当時は真田町長自ら説明にあがったが、ご理解いただけなかったと聞いている。新たな水源の開発には、相当の時

間を要する。今後、新たな水源の開発をすることは、現実的に可能かどうか、というところ。

滝の入水源は、既にご理解をいただいている。他の新たな水源開発を行う場合は、地域の皆さんにどこまでご理解をいただけるか分からない。

水源の権利は、土地の所有者が持っている。取水する権利を、お金を払ってお借りするなどしている立場。

(委員) 滝の入水源を、長野側にまわす必要はあるのか。

(上下水道基盤強化対策室長) 滝の入水源を広域化のために使用する、という協議はしておらず、上田市のために使う、という約束をしている。長野市にこの水が回る予定はない。

(委員) 染屋浄水場から県水に回す、という話であれば、滝の入水源からの水が回るのと同じではないか。

(上下水道基盤強化対策室長) 染屋浄水場から諏訪形浄水場へ水を回すが、滝の入水源の水が直接、長野方面へ回るということではない。

(委員) そこまでしないとイケないのか。

(上下水道基盤強化対策室長) 地域の高低差を利用した水運用によって、効率が上がると考えている。上田市が市町村合併したことにより、真田地域の皆さまのご理解をいただくことにより、経費削減に取り組むことが、つちや水源、滝の入水源の開発事業の根本的な考え方。高低差を利用した水の運用により、滝の入水源から染屋浄水場、染屋浄水場から塩田方面、諏訪形浄水場から長野方面に送ることが可能となる、という可能性が広がるという点では、地域のために相当大きなメリットになると理解している。

(委員) そこまでの費用を掛けて、長野まで送水することと、滝の入水源の水を上小圏域でまわしていく方が、費用的にどうなのか。今回の陥没事件のこともある。大きな事故があった時、水道管が長距離になると、尚更被害が大きくなり、復旧に時間が掛かるのではないか。

(会長) 右岸地域からの意見書でも、市民の皆さんに十分な説明を尽して欲しい、と要望していた。これまでの説明に変更が生じた場合は、引き続き丁寧な説明をお願いしたい。

(2) 上田地域における地域協議会の設置単位及び委員数等の見直しについて

(地域内分権推進担当係長) アンケート結果を集計したので報告する。

右岸地域・左岸地域協議会を1つに再編することについて、賛成が過半数となった。反対と回答いただいた中には、地域協議会は必要ないのではないか、とのご意見もあった。お示しした結果は、いただいた回答のとおりグラフ化したものであり、意見内容も精査していきながら意見書案を作成していきたい。

右岸地域・左岸地域協議会を1つに再編した場合の委員数について、再編しても委員数は今と変わらず20人、という意見が最も多く、続いて25人、30人との回答が多かった。地域協議会は、欠席の方が居たとしても20人程度は常に出席いただけるような会議にしていきたい。内容を精査しながら適切な人数を考えて、意見書案にてお示しさせていただく。

地域協議会の役割を諮問や協議などの「市長その他の市の機関の求めに応じて審議する」ことのみに整理

する問いについて、賛成多数となった。これまで、分科会に分かれて地域課題などを調査研究し、市に提言してきた経過がある。一方で、住民自治組織においても、地域課題を自ら考えて解決していく中で、市長に対して意見を出すことができる。アンケートの結果を見ても役割を整理していく必要があると考えており、意見書案に反映していきたい。

委員の任期について 6 年を超えても再任することができるように条例改正を行うことについて、賛成多数であったが、知識や意欲のある方に委員になっていただくのは良いが、意見に偏りが出てはいけない、とのご意見もあった。広く市民の皆さんに委員になっていただけるような配慮が必要である、と考える。

アンケートの結果を踏まえ、事務局にて意見書案を作成する。事前に意見書案を郵送させていただき、来月の協議会にてご意見をいただく予定。

(3) その他

4 事務連絡

次回 第 11 回開催予定

日時 令和 7 年 3 月 17 日(月)午後 1 時 30 分から

場所 西部公民館

5 閉会